

**植村委員** 今後の計画は。  
**伊山係長** 平成29年度をもって任期が終了する。次年度以降については未定。



幌延町観光大使 井上仁志氏

事になったことと、防災無線の免許の期限が平成34年11月末となっているので、それまでに結論を出したい。

《教育費》

**植村委員** スポーツ指導員に関しては、町のスポーツ振興や町民の健康増進という重責を担っていることを考えると、もう少し謝礼金を出すべきだと考えるが。  
**戸川主幹** 色々と活動をしていただいているところであり、検討していく。  
**鷺見委員** 放課後子ども教室推進事業の活動状況は。

《消防費》  
**吉原委員** 防災マップ等を、どのような災害を目的に作成しようとしているのか。

**古草主幹** 地震における津波の浸水想定と、大雨等による河川の洪水の浸水を想定して策定中。

**高橋委員** 市街地のサイレンの移設の検討については去年も質問したが、その後のような検討を消防としてきたのか。

**古草主幹** 当面は協電舎の場所に置かせていただける



**鷺見委員** 当初予算よりかなり支出が少ないが。  
**戸川主幹** 無償ボランティアの方がいることと、当初見込みよりも参加日数が少なかった事が要因だと考えている。

◆歳入

**斎賀委員** 風力発電(株)利益配当金8百40万円はエネルギー施設等振興基金積立金には入れないのか。

**飯田課長** 基金の利益ではないので一般財源として歳入している。

**鷺見委員** ふるさと納税について増収の要因は何か。

**角山主幹** インターネットから納税ができるようにシステムを導入したことが大きな原因だと考えている。  
**斎賀委員** 本町では延滞金は取らないのか。

**伊藤主幹** 法人町民税については、申告納付で本税と一緒に納めてもらっている。



個人については、修正申告に関してのみだが、計算のうえかかるといっては納めていただいている。

◆総括

**斎賀委員** こざくら荘の方から、30床で運営するのが現実的ではないかという話があったが、今後どのように対応していくのか。

ふるさと納税返礼品



**野々村町長** こざくら荘側と協議をしいかなければと思っているが、老人福祉サービスの拠点として大事な位置付けであり、数字だけの問題ではなく、維持するための方策を協議していかなければならないと考えている。

**高橋委員** 町道雄興1号線の代替路線整備事業の調査については終了していると思うが、どのような状況か。  
**岩川副町長** 代替路線の実設計を一時ストップして、移転することも選択肢の一つとして資産評価を行った。評価額は出てきており、今後の橋梁点検の結果によってどういう選択肢があるのか、検討している。